光シティサービス専用

光BBユニット
セットアップ
ガイド

●本文中の記号について

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。

関連する情報が、本冊子の他のページにあることを示しています。

CONTENTS

目次

はじめに

ご利用前の確認

光BBユニットのセットアップ

ルータ機能の設定

光BBユニットの設定

安全のために特にご注意ください

光BBユニット（本製品）を正しく使用するために、必ずお読みください。

ご利用前に必ずお読みください

- ご利用の際は本冊子、および光BBユニットに付属の冊子やチラシなどに従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品の仕様は国内向けとなっています。海外ではご利用できません。
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や、万が一本製品に登録された情報内容が消失してしまうことでの純粋経済損失につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本冊子に、他社製品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制あるいは保証するものではありません。
- 本冊子、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

使用している警告表示の意味

警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠警告
本製品をご自分で修理・分解・改造等目的以外の使用をしないでください。火災、感電、やけど、けがのおそれがあります。
本製品をお子様が分解したり、内部に触れたりしないようにしてください。火災、感電、やけど、けがのおそれがあります。また機器故障の原因となります。
落としたり、衝撃を与えた場合は、すぐに使用を中止して電源アダプタを抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止して電源アダプタを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
本製品の内部に水が入ったり、本製品をぬらしたりした場合は、すぐに電源を切り、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
本製品内部に液体・金属・たばこの煙などの異物を入れないでください。
本製品の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、当社にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
本製品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと本製品の内部に熱がこもり、火災、機器故障の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。 ・じゅうたんやカーペット（床暖房を含む）、布団などの上に置く ・テーブルクロスなどの布やレースを本製品に掛ける ・本棚、タンスの中、押し入れの中など風通しの悪い場所に置く ・紙、本などをのせたり立て掛けたりする
電源アダプタコードを束ねたり、許容量以上の配線はおやめください。火災の原因となることがあります。
電源アダプタをコンセントから抜くときは、必ず電源アダプタの本体を持って抜いてください。電源アダプタコードを引っ張るとコードが傷付き、火災・感電の原因となることがあります。
本製品は場合により熱くなる場合がありますので、本製品の周辺に紙、布等燃えやすいものは置かないようにしてください。
本製品を取り付け・使用する際は、必ず使用するパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。
本製品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

⚠注意
電源アダプタがコンセントに接続されているときは、ぬれた手で本製品にさわらないでください。感電の原因となります。
本製品をふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高い所で設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。
直射日光の当たる所や、ストーブ、ヒーターなどの発熱器のそばなど、温度の高い所に置かないでください。内部の温度が上がり、火災や機器故障の原因となることがあります。
本製品の上に物をのせないでください。高温による火災の原因となることがあります。
近くに雷が発生したときは、電源アダプタをコンセントから抜いてご使用をお控えください。落雷によって、火災や感電、機器故障の原因となることがあります。
静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。人体などの静電気は、本製品を破損、またはデータ消失・破損させるおそれがあります。
長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本製品の電源アダプタをコンセントから抜いてください。

お願い

- ベンジン、シンナー、アルコールなどで本製品をふかないでください。本体の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤を付けた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 電源を再投入する場合、電源を切った状態から5秒以上経った後、電源の再投入を行ってください。これを守らないと故障の原因となることがあります。
- 本製品は当社またはその指定する会社、団体が所有するものであり、お客様へお貸し出ししているものです。本製品の第三者への譲渡、質入、転貸、損壊、破棄、着色その他一切の処分を行うことを禁止します。

光BBユニットと付属品

万一、不足品があった場合は、光シティサポートセンターまでご連絡ください。

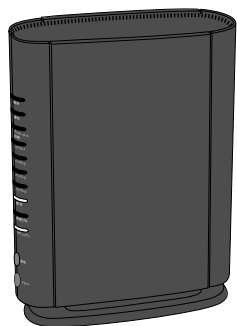
■光シティサポートセンター

0120-964-761（通話料：無料）

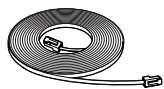
●お申し込み内容やサービスに関するお問い合わせ　10：00〜18：00

●技術サポートに関するお問い合わせ　10：00〜19：00

※製品の外観は実際と異なる場合があります。

※モジュラーケーブル、LANケーブルは、お申し込みのサービスによっては本冊子と同梱となっています。

光BBユニット
（1台）

電源アダプタ
（1個）

モジュラーケーブル
緑色・黄色（予備）各1本

LANケーブル
（青色1本）

■ お客様にご用意いただくもの※インターネットサービスをお申し込みの場合

・次のOSが搭載されたパソコン

【Windows の場合】

Windows Vista／7／8／8.1

【Mac OSの場合】

Mac OS　X　10.7〜

・100BASE-TX、1000BASE-Tに対応したLANアダプタ

お使いのパソコンに内蔵の場合は不要です。

●ブロードバンドコンテンツを快適にお使いいただくためには、3年以内に発売されているパソコンを推奨しております。

●Windowsにつきましてはマイクロソフト株式会社のサポートが終了しているバージョンはサポート対象外とさせていただきます。

●Mac OSにつきましては上記以外のバージョンはサポート対象外とさせていただきます。

●TCP/IPプロコトルおよびDHCPによってIPアドレスが取得できるネットワーク設定が可能なOSであれば、LinuxなどのPC UNIXでも利用可能ですが、上記OS以外はサポート対象外となります。

●日本語OSのみの対応となります。

光BBユニットの特徴

光BBユニットは次の機能を提供する宅内設置用接続機器です。

■NAT機能付き4ポートルータ

NAT機能により、パソコンなどの機器を2ポート接続することが出来ます。（4ポートの内2ポートは行政サービスで利用されます。）

【NAT機能とは】
Network Address Translationの略。インターネットに接続する場合、1つのグローバルなIPアドレスを複数のコンピュータで共有する技術。ローカルネットワーク上でのみ通用するIPアドレス（ローカルアドレスまたはプライベートアドレス）と、インターネット上のIPアドレス（グローバルアドレス）を透過的に相互変換することにより実現される。

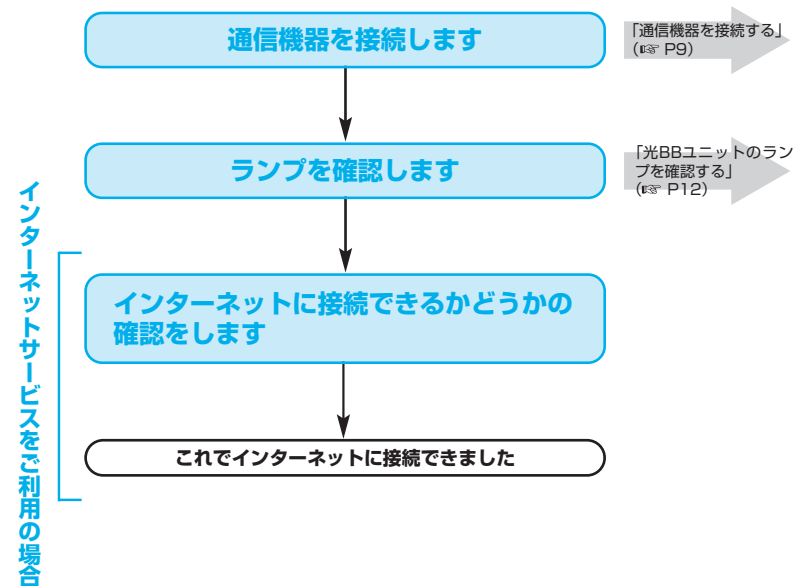
■IEEE802.11a/b/g/n対応無線LANアクセスポイント

IEEE802.11a/b/g/n規格に対応した無線LANのアクセスポイント機能を提供します。

※無線LANサービスは、オプションサービスです。

※無線LANの無線区間の速度表記IEEE 802.11a/g（規格値54Mbps）、IEEE 802.11b（規格値11Mbps）、IEEE 802.11n（規格値300Mbps）は技術規格上の理論値であり、実際にお客様がLANを利用される場合の通信速度は利用環境などに応じて減少しますのでご注意ください。

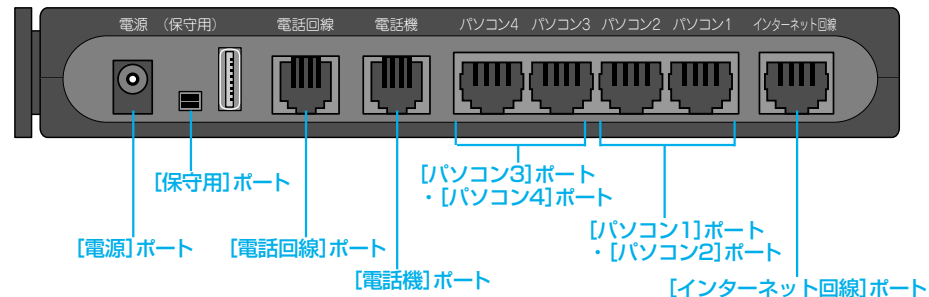
セットアップの流れ

光BBユニットのセットアップは、次の順序で行ってください。

◆通信機器の接続からインターネットへの接続はこれで完了です。
詳細は下記Webページの「パソコン・ネットワークの設定方法」よりご確認ください。
http://ybb.softbank.jp/support/connect/step2/pc/

◆メールソフトを利用される場合、メールソフトに応じて設定方法が異なりますので詳細は下記WEBページの「メールソフトの設定」よりご確認ください。
http://ybb.softbank.jp/support/connect/mail/

ヒント　ルータ機能の詳細設定を行いたい場合は
ネットワーク環境やご利用になるアプリケーションなどにより、光BBユニットのルータ機能の詳細設定を行いたい場合は、「ルータ機能の詳細設定」（☞P14）をご覧ください。

ポートを確認する

ポートとは、LANケーブルやモジュラーケーブル（電話線）などを接続する差込口のことです。

[インターネット回線］ポート
光ターミナルを接続します。

[パソコン1］ポート・［パソコン2］ポート（インターネットサービスご利用時のみ使用）
パソコンなどを接続します。

[パソコン3］ポート・［パソコン4］ポート
告知放送機器をはじめとする、各行政の提供するサービスに必要な機器を接続します。

[電話機］ポート（BBフォン光サービスご利用時のみ使用）
電話機を接続します。

[電話回線］ポート（BBフォン光サービスご利用時のみ使用）
BBフォン光サービスをご利用で、番号ポータビリティにお申し込みの場合は、番号ポータビリティが完了するまでの期間、電話用モジュラージャックと接続します。

番号ポータビリティ完了後は、必ず接続ケーブルを外してください。

落雷などにより光BBユニットが故障する場合があります。

[保守用］ポート
[保守用］ポートは、お客様がご利用になることはありません。

[電源］ポート
電源アダプタを接続するポートです。

各ポートへの機器接続については、「通信機器を接続する」(☞ P9) をご覧ください。

通信機器を接続する

光BBユニットとお客様のパソコンや電話機（またはFAX機）を接続します。

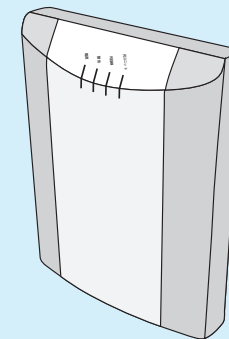
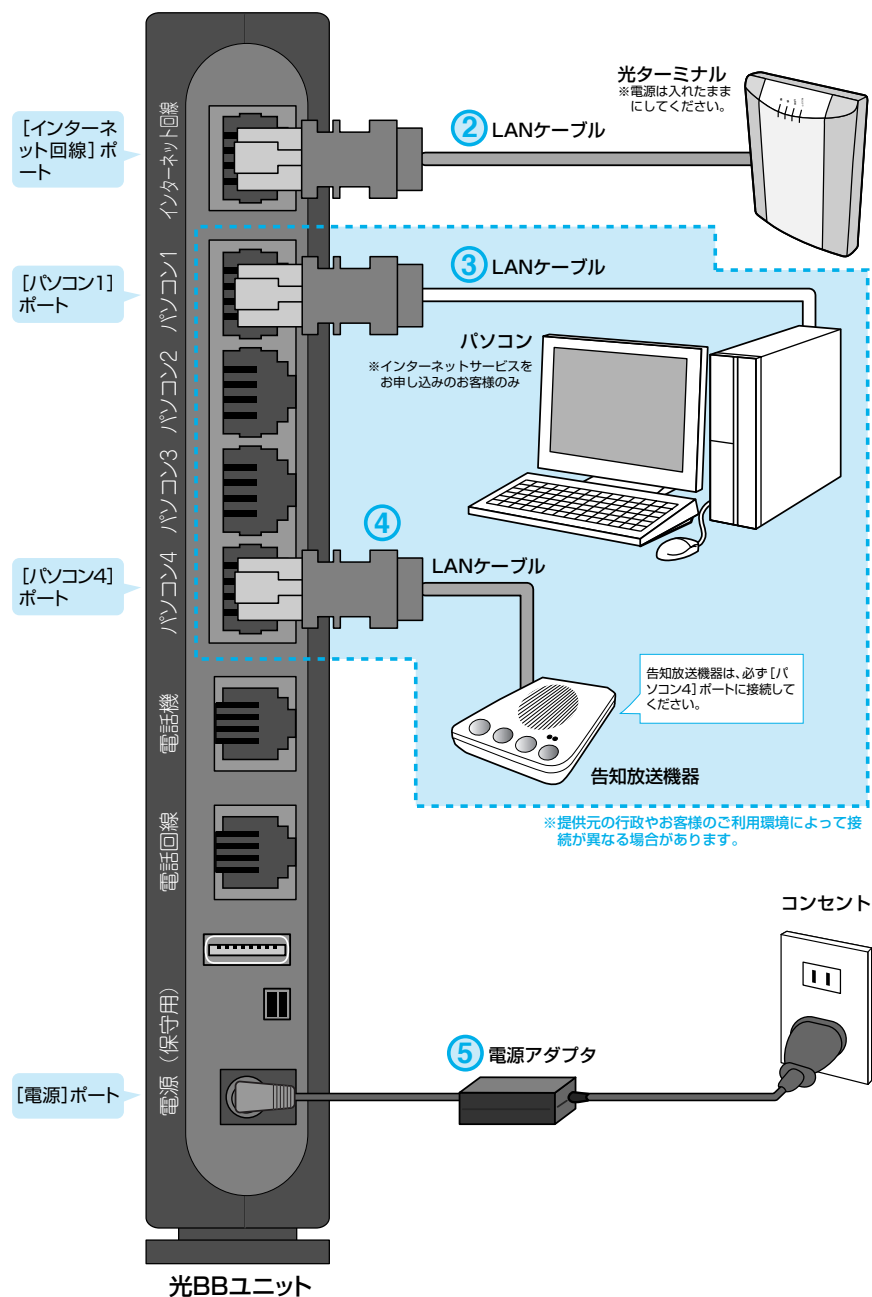
※光BBユニットやケーブルなどの形状は、実際と異なる場合がございます。

**光BBユニットの接続方法は、ご利用のサービス提供元の行政やお客様のご利用環境によって、若干異なる場合があります。本冊子では最も一般的な接続方法をご説明します。
詳しい接続方法は、ご利用のサービスを提供する行政にお問い合わせください。**

接続方法については、次のページからの説明をご覧ください。

! BBフォン光サービスをご利用の場合の接続方法は、「光BBユニット接続ガイド」をご覧ください。

光ターミナルについて

光ターミナルは、インターネット回線につなぐために光BBユニットと接続する通信機器です。光ターミナルの設置作業は、当社またはサービス提供元の行政が委託した施工業者が行います。
光BBユニットとパソコンや電話機（またはFAX機）を接続される際は、必ずご利用環境に光ターミナルが設置され、屋外および屋内の光回線工事も完了した後に行ってください。また、設置した光ターミナルは、常に電源が入ったままの状態でご利用ください。

※光ターミナルの電源が入っていないと、行政の提供する告知放送等のサービス、インターネット、BBフォン光をお使いいただくことができませんので、ご注意ください。もしも電源アダプタをコンセントから抜いてしまった場合には、差し直してご利用ください。
※光ターミナルについて、詳しくは、「光ターミナル ご利用上の注意」をご参照ください。

① 接続機器の電源を切る

接続する機器（パソコン、光BBユニット、告知放送機器など）の電源をすべて切ってください。

> ! 光ターミナルは、電源が入った状態のままにしておいてください。

② 光BBユニットと光ターミナルの接続

LANケーブル（灰色）で、光BBユニットの［インターネット回線］ポートと光ターミナルの［光BBユニット］ポートを接続します。

③ 光BBユニットとパソコンの接続（インターネットサービスをお申し込みのお客様のみ）

LANケーブル（青色）で、光BBユニットの［パソコン1］ポートまたは［パソコン2］ポートのどちらかとパソコンのLANアダプタを接続します。

> ! 光BBユニットにパソコンや周辺機器を複数台接続する場合も、同様に光BBユニットの［パソコン1］または［パソコン2］ポートのどちらかあいたポートとパソコンのLANアダプタをLANケーブルでつないでください。
> ※LANケーブルは別途ご用意ください。

手順③、④（［パソコン1］～［パソコン4］ポートの接続方法）は、ご利用サービスの提供元の行政によって、接続する機器やポートが若干異なる場合があります。詳しくはご利用のサービスを提供する行政にお問い合わせください。

④ 光BBユニットと告知放送機器の接続

光BBユニットの［パソコン4］ポートと告知放送機器をLANケーブルで接続します。

> ! ・告知放送機器は、必ず［パソコン4］ポートに接続してください。
> ・告知放送機器については、付属の取扱説明書や提供元の行政などにお問い合わせください。

⑤ 光BBユニットの電源を入れる

電源アダプタを光BBユニットの［電源］ポートに接続して、
もう一方をコンセントに差し込みます。

⑥ パソコン、告知放送機器などの電源を入れる

光BBユニットの［電源］ランプが点灯してから、パソコン、告知放送機器などの電源を入れてください。

> ! ・光BBユニット、パソコンなどの電源アダプタは、それぞれの機器に正しく接続してください。電気製品の電源アダプタは、機器によって定格電流や定格電圧、入力端子の＋極／－極の形態、位置などが異なり、他の製品のものを接続すると、機器の誤動作や故障、発熱の原因となって、たいへん危険です。
> ・正しく接続されていない場合、「電話にノイズが入る」などの原因となります。またケーブルがきちんと差し込まれていないことで接続が不安定になる場合もあります。そうした場合には、配線が正しい場合もいったん配線を外して再度、通信機器を接続し直してみてください。

光BBユニットのランプを確認する

通信機器の接続が終わったら、光BBユニットの前面パネルのランプが正常に点灯するかどうか確認してください。
光BBユニットの電源を入れると、すべてのランプが一瞬点灯し、約30秒後に、図のように点灯します。数分後、図のように［電源］、［インターネット回線］、［電話］の各ランプが点灯すれば、回線は正常に機能しています。

［電源］ランプ
光BBユニットに電源が供給されているときに点灯します。点灯していない場合は、電源アダプタの接続を確認してください。

［警告］ランプ
通信障害が発生したときに点灯します。点灯したままになっている場合は、光BBユニットの電源をいったん切り、再度電源を入れ直してください。

［インターネット回線］ランプ
インターネット回線に正常に接続されているときに点灯し、通信時に点滅します。光BBユニットが正しく接続されていなかったり、回線に何らかの障害が発生している場合などは点灯しません。

［パソコン1］～［パソコン4］ランプ
パソコン・告知放送機器などと光BBユニットが正常に接続されているときに、機器を接続しているポート（差込口）に対応したランプが点灯し、通信時に点滅します。機器の電源が入っていないときや、機器が接続されていない場合は点灯しません。
※ランプの色は、お客様のパソコン（LANアダプタ）の規格によって異なります。光BBユニットとパソコン間のリンク速度が100/1000Mbpsの場合は緑色、10Mbpsの場合はオレンジ色になります。

［電話］ランプ
（BBフォン光サービスご利用時のみ使用）
BBフォン光を使った通話が可能なときに緑点灯します。オレンジ点灯、または消灯しているときはBBフォン光での通話はできません。

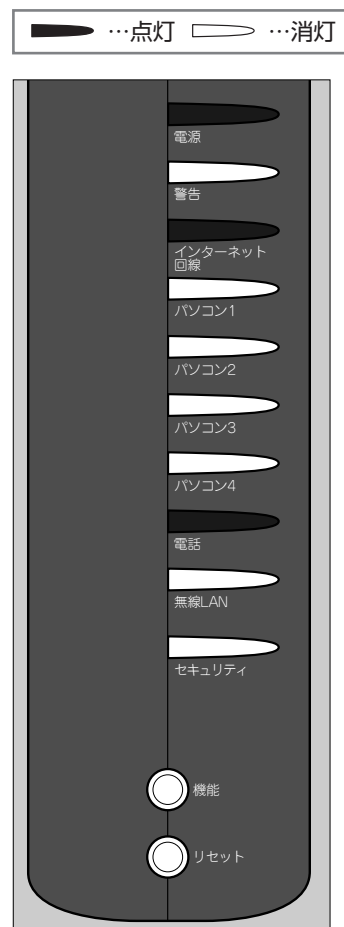
［無線LAN］ランプ
（無線LANサービスご利用時のみ使用）
無線LANでの通信が可能になった時に点灯します。

［セキュリティ］ランプ
［セキュリティ］ランプは、使用しません。

［機能］ボタン
（無線LANサービスご利用時のみ使用）
約1～2秒押し続けると、「プッシュボタン方式」でのWPS機能を利用した無線LAN設定が利用できます。

［リセット］ボタン
・ボタンを押す：再起動を行います。
・ボタンを5秒間押し続ける：ルータ機能、無線LANの設定を初期状態に戻します。

…点灯　…消灯

ここまでで設定は終了です。

光BBユニットの仕様

〈 主な仕様 〉

外寸（縦置き）	65.2（W）×195（H）×140（D）mm
質量	本体：約472g
	ACアダプタ：約295g
電源	ACアダプタ
入力	100V（50/60Hz）
出力	DC12V/2A
最大消費電力	24W
動作温度	0℃～40℃
動作湿度	5%～90%以下※ただし結露なきこと

〈 通信に関する仕様一覧 〉

<table>
<tr><th></th><th colspan="2">WAN</th><th colspan="2">LAN</th><th colspan="2">無線LAN</th></tr>
<tr><td>準拠規格</td><td colspan="2">IEEE 802.3/IEEE 802.3i/IEEE 802.3u/IEEE802.3x</td><td colspan="2">IEEE 802.3/IEEE 802.3i/IEEE 802.3u/IEEE802.3x IEEE 802.3ab</td><td colspan="2">IEEE 802.11a/b/g/n （自動認識）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">伝送速度</td><td colspan="2" rowspan="3">10/100Mbps（自動認識）</td><td colspan="2" rowspan="3">10/100/1000Mbps（自動認識）</td><td colspan="2">［802.11b］11～1Mbps（速度自動切替）</td></tr>
<tr><td colspan="2">［802.11a/g］54～6Mbps（速度自動切替）</td></tr>
<tr><td colspan="2">［802.11n］300～6.5Mbps（速度自動切替）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="2">WANポート</td><td rowspan="2">RJ-45（1ポート）</td><td rowspan="4">LANポート</td><td rowspan="4">RJ-45（4ポート）</td><td>周波数帯</td><td>2.4/5GHz帯</td></tr>
<tr><td rowspan="2">チャンネル数</td><td rowspan="2">5GHz：W52(36～48ch)、W53(52～64ch)、W56(100～140ch)
2.4GHz：1～13ch（自動設定時1～11ch）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">WAN IP取得プロトコル</td><td rowspan="2">DHCP</td></tr>
<tr><td>アンテナ方式</td><td>ダイバシティ方式（内蔵型）</td></tr>
</table>

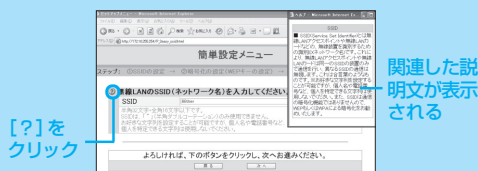
ルータ機能の詳細設定

光BBユニットのルータ機能は初期状態のままでもお使いいただけますが、さらに詳細な設定を行いたい方は、次の手順で行ってください。

ここまでの操作で、インターネット接続に必要な設定はすべて完了しています。以降の作業は、光BBユニットのルータ機能をご自身で詳細に設定したいという方のみご参照ください。

ルータの各種機能は、光BBユニットにLANケーブルで接続したパソコンから、ブラウザを利用して設定します。
ここでは、Internet Explorerで設定する手順を紹介します。

ヒント　説明文の表示

設定手順の途中で，わからないことや用語の意味を確認したいときなどは、画面中の［?］をクリックすると、別画面で説明文が表示されます。

「セットアップメニュー」画面を表示する

① Internet Explorerで、次のアドレスにアクセスします。

http://172.16.255.254/

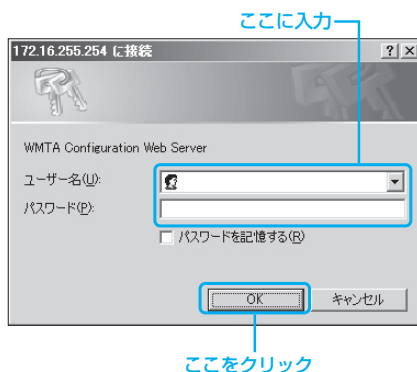
ログイン画面が表示されます。

② ［ユーザー名］と［パスワード］を入力します。

［ユーザー名］　：user
［パスワード］　：user（初期値）

※「user」はすべて半角小文字で入力してください。

パスワードは、任意のものに変更可能です（「ログインパスワードの変更」☞P23）。

［OK］をクリックします。

③「セットアップメニュー」画面が表示されます。

お使いの環境によっては、表示が異なる場合もあります。

セットアップメニュー

設定モード選択	
WPS設定	WPS(Wi-Fi Protected Setup)にて無線LANの設定を行います。
設定確認	無線LANの設定を確認します。
詳細設定モード	全ての機能を設定します。(上級者向け)

ルータ機能の各種設定は、この「セットアップメニュー」画面から行います。

各種ルータ機能を設定する

ここでは次の3つの機能の設定方法を紹介します。必要に応じて設定を行ってください。

■IPアドレス／DHCPサーバの設定（☞P16）

特定のソフトウエアの仕様などによって、パソコンやネットワーク機器のIPアドレスを固定する必要がある場合に設定します。初期設定されているIPアドレスを変更したい場合は、次の手順で設定をしてください。

■ポート転送（静的IPマスカレード）の設定（☞P18）

インターネットを利用したアプリケーション（特定のオンラインゲームやメッセンジャーなど）を利用する場合のみ、必要となる設定です。設定するポート番号については、利用するアプリケーションの取扱説明書などをご確認ください。なお、ポート転送設定を行う際は、IPアドレスの固定設定（「IPアドレス／DHCPサーバの設定」☞P16）もあわせて行う必要があります。

■UPnP機能の設定（☞P20）

UPnP（Universal Plug and Play：パソコンや周辺機器をネットワークへ簡単に接続するための規格）を設定します。UPnPを利用することで、ルータに接続したパソコンからでも、特別な設定なしにUPnP機能対応インスタントメッセンジャーやネットワーク対応ゲームを利用することができます。

（注）UPnP対応ソフトウェアであっても、仕様によっては一部機能が利用できない場合もあります。詳しくは、メーカーにお問い合わせください。

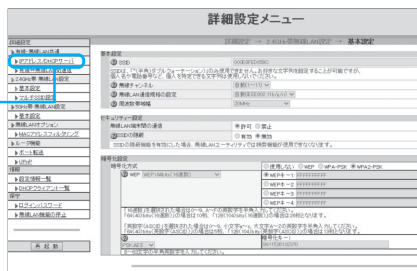
IPアドレス／DHCPサーバの設定

① 「セットアップメニュー」画面を表示します。

> ! 「セットアップメニュー」画面の表示方法は、「セットアップメニュー画面を表示する」（☞ P14）をご覧ください。

② ［詳細設定モード］をクリックします。

③ 左側に表示されたメニューから「IPアドレス/DHCPサーバ」をクリックします。

ここをクリック

④ 「IPアドレス/DHCPサーバ」欄が、次のように表示されているのを確認します。

［IPアドレス］：192.168.3.1

［サブネットマスク］：255.255.255.0

通常は、初期値のままで利用できます。

ここを確認

⑤ 「固定割当」欄に、各パソコン（LANアダプタ）に割り当てるIPアドレスとLANアダプタのMACアドレスを設定します。

［割当IP］：
パソコン（LANアダプタ）に割り当てたいIPアドレス

［MACアドレス］：
LANアダプタのMACアドレス

> ! 設定したIPアドレスは、忘れないようメモに残すなどの方法で保管してください。

入力が終わったら［OK］をクリックします。

⑥ 左側に表示されたメニューから［再起動］をクリックします。

⑦ 光BBユニットの再起動状態を確認する画面が表示されます。
［OK］をクリックします。

⑧ 設定した内容を保存するために、光BBユニットが再起動されます。しばらくそのままでお待ちください。

⑨ 「セットアップメニュー」画面に戻ります。

IPアドレス／DHCPサーバの設定は以上で完了です。

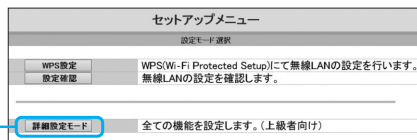
ルータ機能の詳細設定

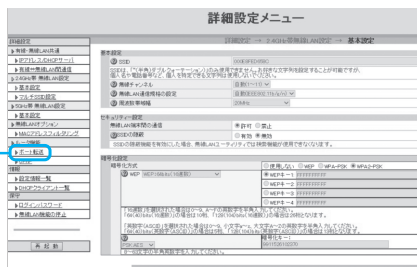
ポート転送（静的IPマスカレード）の設定

1「セットアップメニュー」画面を表示します。

> ! 「セットアップメニュー」画面の表示方法は、「セットアップメニュー画面を表示する」（☞ P14）をご覧ください。

2［詳細設定モード］をクリックします。

ここをクリック

3 左側に表示されたメニューから「ポート転送」をクリックします。

ここをクリック

4 ご利用のアプリケーションに必要な設定内容を入力します。

［有効／無効］：
「有効」を選択します。

［プロトコル］：
ご利用のアプリケーションが指定するプロトコルを選択します。

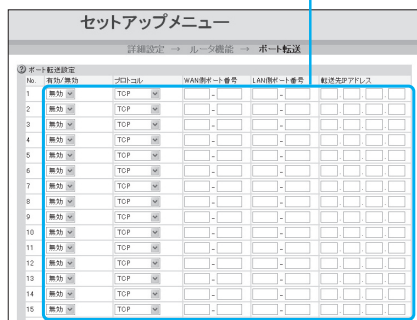
※特に記載がない場合は「TCP／UDP」を選択します。

［WAN側ポート番号］：
ご利用のアプリケーションが指定するポート番号を入力します。

※連続した複数のポート番号を設定する場合は範囲指定が可能です（1-100など）。
※連続していない複数のポート番号を指定する場合は下の行（No.2以降）を使用して設定します。

［LAN側ポート番号］：
特に指定がない場合は任意の番号を入力します。

［転送先IPアドレス］：
ポート転送を行いたいパソコンやネットワーク機器が取得しているIPアドレスを入力します。

ここに入力

> ! ここで設定するポート番号は、アプリケーションによって異なります。アプリケーションの製造元のメーカーにお問い合わせください。

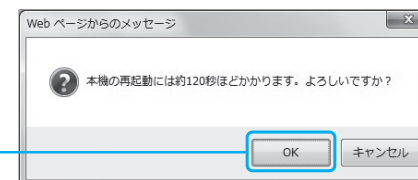
5 入力が終わったら、［OK］をクリックします。

ここをクリック

6 左側に表示されたメニューから［再起動］をクリックします。

ここをクリック

7 光BBユニットの再起動状態を確認する画面が表示されます。
［OK］をクリックします。

ここをクリック

8 設定した内容を保存するために、光BBユニットが再起動されます。しばらくそのままでお待ちください。

9「セットアップメニュー」画面に戻ります。

ポート転送（静的IPマスカレード）の設定は以上で完了です。

UPnP 機能の設定

①「セットアップメニュー」画面を表示します。

> ! 「セットアップメニュー」画面の表示方法は、「セットアップメニュー画面を表示する」（☞ P14）をご覧ください。

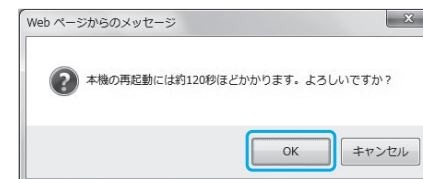
②［詳細設定モード］をクリックします。

③左側に表示されたメニューから「UPnP」をクリックします。

④［有効］を選択します。

⑤［OK］をクリックします。

⑥左側に表示されたメニューから［再起動］をクリックします。

⑦光BBユニットの再起動状態を確認する画面が表示されます。
［OK］をクリックします。

⑧設定した内容を保存するために、光BBユニットが再起動されます。しばらくそのままでお待ちください。

⑨「セットアップメニュー」画面に戻ります。

UPnP機能の設定は以上で完了です。

設定の確認、パスワードの変更

■設定情報一覧（☞ P22）

光BBユニットに設定されている設定内容を一覧表示させます。

■ログインパスワードの変更（☞ P23）

「セットアップメニュー」画面にログインするためのパスワードを変更します。

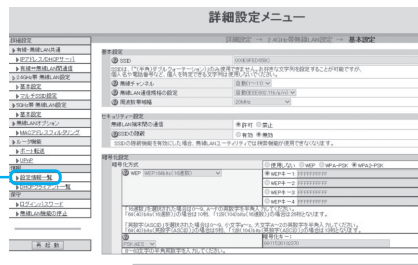
■UPnPポート転送設定一覧（☞ P24）

UPnP機能によって割り当てられるポート設定の一覧を表示させます。

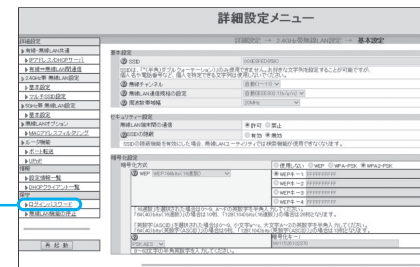
■DHCPクライアント一覧（☞ P24）

光BBユニットのDHCPによって割り当てられている各パソコン（LANアダプタ）のIPアドレスとMACアドレスの一覧を表示させます。

設定情報一覧

①「セットアップメニュー」画面を表示（☞ P14）し、［詳細設定モード］をクリックします。左側に表示されたメニューから「設定情報一覧」をクリックします。

②光BBユニットに設定されている設定内容を確認できます。

ログインパスワードの変更

①「セットアップメニュー」画面を表示（☞ P14）し、［詳細設定モード］をクリックします。左側に表示されたメニューから「ログインパスワード」をクリックします。

②新しいパスワードを設定します。

［現在のパスワード］：
現在のパスワードを入力します。
（初期値：user）

［新しいパスワード］：
変更したいパスワードを入力します。

［新しいパスワードの確認］：
確認のため、もう一度新しいパスワードを入力します。

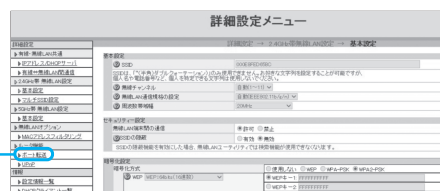
詳細設定メニュー
保守 → ログインパスワード
ログインパスワードの変更
現在のパスワード
新しいパスワード
新しいパスワードの確認
パスワードは半角英数文字、半角記号を最大16文字まで使用可能です。
設定保存 OK
ここに入力

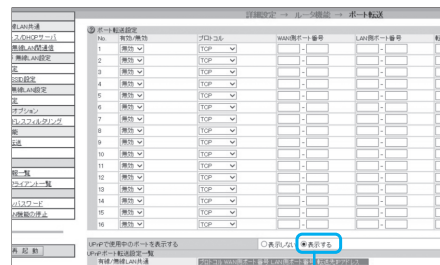
③［OK］をクリックして、光BBユニットを再起動します。

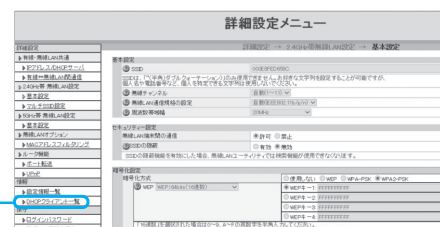
詳細設定メニュー
保守 → ログインパスワード
ログインパスワードの変更
現在のパスワード
新しいパスワード
新しいパスワードの確認
パスワードは半角英数文字、半角記号を最大16文字まで使用可能です。
設定保存 OK
ここをクリック

光BBユニットの再起動を確認する画面が表示されます。

UPnPポート転送設定一覧

① 「セットアップメニュー」画面を表示し（☞P14）、［詳細設定モード］をクリックします。左側に表示されたメニューから「ポート転送」をクリックします。

② 「UPnPで使用中のポートを表示する」を「表示する」にします。

UPnPによって割り当てられているポート設定を確認することができます。

DHCPクライアント一覧

① 「セットアップメニュー」画面を表示（☞P14）し、［詳細設定モード］をクリックします。左側に表示されたメニューから「DHCP クライアント一覧」をクリックします。

② 光BBユニットのDHCPによって割り当てられている各パソコン（LANアダプタ）のIPアドレスとMACアドレスの一覧を確認できます。